

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

これからの時代に求められている力

北薩教育事務所 所長 末満 一二三

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

さて、いよいよ、小学校では4月から、中学校では令和3年度から、新学習指導要領が全面实施される。そのことを踏まえ、今一度これからの時代を力強く生き抜くために、児童生徒に必要な力について整理しておきたい。

これからの時代は、グローバル化はもちろん、少子高齢社会、生産年齢人口の急減とそれに伴い、労働の多くがAI（人工知能）やコンピュータに代替されることが予想されており、社会が大きく変わろうとしている。当然のことながら、求められる学力も変わってくる。そこで、このような時代をたくましく生き抜くために、児童生徒に身に付けさせなければならない力とは何なのか、明確にする必要がある。

具体的には、獲得した知識から正解を素早く出すことよりも、解決すべき課題を発見する力や、学び続ける強い意志、他者と協働して課題を解決していこうとする力こそが重要である。

この流れは、平成18年の教育基本法改正により、教育の理念が示され、それを受け、平成19年に学校教育法も改定され、学力の要素が明確に規定されたことからきている。

学力の三つの要素については、①基礎的な知識及び技能を習得すること、②思考力、判断力、表現力等を育成すること、③主体的に学習に取り組む態度を養成することと示されている。

このような背景を踏まえ、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を生かし、児童生徒が未来社会を切り開く資質・能力を一層確実に育成することを目指し、新学習指導要領では、育成すべき資質・能力が明確にされた。それは、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して目指す資質・能力を、①生きて働く「知識・技能」の習得、②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養の三つの柱に再整理している。

学習指導要領総則編で明確化されている三つの育成すべき資質・能力は、三つの学力の要素と結び付いている。我々教職員は、このことをしっかり認識し、児童生徒が、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするために、学習の質を一層高める授業改善の取組を活性化していかなければならないことを肝に銘じて、日頃の授業に望みたいものである。

主体的・対話的で深い学び

〔阿久根市立阿久根中学校〕

2年間のキャリア教育研究校としての取組を基盤に、平成30年度から「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、チームとして組織的・体系的な授業改善に取り組んでいる。

○自己肯定感の高揚、学習意欲の高揚



熱中し活躍できる教育活動

授業面、生活面でのしつけを徹底し、授業に集中でき、学校行事や部活動に熱中できる環境づくりに努めている。生徒の主体的活動を重視し、生徒も職員も協働を積み重ね、「ひとみ輝く」学校を目指している。

キャリア教育研究では、「当たり前」の事を当たり前」を合言葉に、学習指導と生徒指導の充実を両輪で図ってきた。チームとしての研究実践が実を結び、今年の全国学力・学習状況調査における生徒質問紙の各項目では、全国比を上回った。生徒も職員も授業に集中できる現在、「安定から加速へ」と、今後一層の授業改善を進めていく。

○チームとしてベクトルを同じに



子供が主役となる学び

学力向上モデル校として、教科の枠を越えて、授業づくりや指導法改善に関する校内研修を展開している。生徒の実態把握を基に、学年や教科で講ずべき手立てを「いつ行うか」を協議し、即実践している。

【教育事務所から】

阿久根中学校は、県の「学びの組織活性化」推進プロジェクトのモデル校の指定を受け、昨年度は数学、本年度は国語を中心に熱心に取り組んでいる学校です。諸学力調査で成果を上げつつあります。

がんばれ出水！ がんばれ川薩！

■第33回県地区対抗女子駅伝競走大会

日時	令和2年1月26日(日)
場所	霧島市隼人運動場スタート・ゴール
区間	全6区間

■第67回県下一周市郡対抗駅伝競走大会

日時	令和2年2月15日(土)～19日(水)
区間	鹿児島県内全53区間

※ 16日(日)は南さつま市から出水市、17日(月)は出水市から霧島市までがコースとなっています。全力で走る選手達に、御声援をよろしく願いいたします。

【地区対抗女子駅伝終了】
選手は日頃の練習の成果を十分発揮して、川薩チームは4位、出水チームは6位という成績でした。

当日は、選手やスタッフへのたくさんの激励や声援、ありがとうございました。



【地区対抗女子駅伝 スタートの様子】

「特別支援教育支援教材ポータルサイト」の紹介です

通常の学級や特別支援学級等において、特別な配慮を必要とする児童生徒への指導・支援を行う際に、「効果的な教材や教具、実践例を知りたい。」と思ったことはありませんか。

ここでは国立特別支援教育総合研究所のホームページに開設されたウェブサイト「特別支援教育教材ポータルサイト(支援教材ポータル)」を紹介します。

検索する場合は、

- 「教材・支援機器」を探す
「対象の障害」など、様々な条件で検索することができます。
- 「実践例」を探す
様々な学びの場で活用した実践例を検索することができます。

児童生徒の学習上又は生活上の困難さについて、様々な視点で検討することで、よりよい支援・指導方法や教材等のヒントを得ることができます。是非、ご覧ください。

(参考)

<http://kyozai.nise.go.jp/>

冬季の健康管理について

保健所から出された北薩感染症情報(令和2年1月12日現在)によると、出水保健所管内がインフルエンザ流行発生警報域、川薩保健所管内が流行発生注意報域となっております。北薩地区全体で増加傾向にあり、今後の動向に注意が必要です。

《インフルエンザ予防の有効な方法》

- 外出後の手洗い等
- 適度な湿度の保持
- 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 人混みや繁華街への外出を避ける
- 咳エチケット

北薩地区子ども会大会・創作活動大会

12月8日(土)薩摩川内市東郷公民館で、北薩地区子ども会大会・創作活動大会を行いました。

活動発表では、薩摩川内市永利地区ホープタウン子ども会と出水市ジュニアリーダークラブ「出水兵児」が、異年齢による体験活動や地域のボランティア活動について発表しました。創作活動では、部分日食を前に、日食グラスを製作しました。今後の子ども会活動の活性化につながるよい機会となりました。



交通違反・交通事故等を防ぐための五つのポイント！

新学期を迎え1月が過ぎようとしています。これから年度末に向けて慌ただしくなっていますが、プライベートも含め、車の運転時には十分気を付けましょう！

- 1 率先して交通ルールを守り、ゆとりをもった安全運転に努める。
- 2 交通事故は心身の苦痛、経済的負担に加え、公務員としての信用失墜につながることを認識する。
- 3 飲酒運転は絶対にしてはならないことであり、懲戒免職の対象となることを認識する。
- 4 前日の飲酒でも量が過ぎれば、翌朝、飲酒運転になる恐れがあることを認識する。また、飲酒運転を容認することも、責任を問われるということを十分認識する。
- 5 運転中の携帯電話等の使用(通話、画像注視)を絶対にしない。大きな事故につながる行為であることを認識する。

良質な教育環境づくりへのアドバイス

いよいよ私立、公立高等学校等の受験が始まります。学校では諸調査等の結果を踏まえ、授業改善に向けた様々な取組が行われています。このことは、キャリア教育の視点からも児童生徒が望む進学、就職に向けた確かな学力等を定着させるための学校の責務と考えています。

編集後記

いよいよ今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。そして、本県においては燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会の開催年でもあります。太陽国体(昭和47年)から48年ぶりの開催となります。鹿児島県民、そして子供たちの記憶に残る大会となるよう、皆さんでサポートしていきましょう。